

平成
31年度
(H31.4～H32.3)

保健事業のご案内

保存版

お問い合わせ

平野区保健福祉センター 〒547-8580 平野区背戸口3-8-19
TEL:06-4302-9882 Fax:06-6702-4315

健診を受けるまで
大切に保管してください

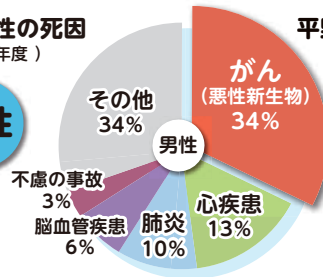
日本では **2人に1人ががん** になり **3人に1人ががん** で亡くなっています!



平野区でもおおむね
3人に1人ががん
で亡くなっています。

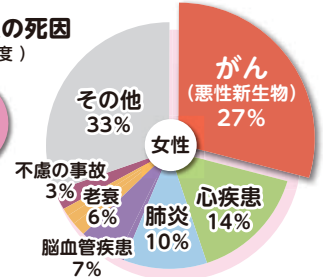
平野区の男性の死因
(平成28年度)

男性



平野区女性の死因
(平成28年度)

女性



予約要!

がん検診を受けましょう!

大阪市に住民票のある方を対象に、各種がん検診等を実施しています。大阪市のがん検診は安価な自己負担金で受診していただけます。

種類	対象者	検査方法	実施機関	自己負担金
胃がん検診	40歳以上	バリウムによるX線撮影	【保】	500円
	50歳以上※①	内視鏡検査(胃カメラ)	【医】	1,500円
大腸がん検診	40歳以上	免疫便潜血検査(2日間)	【保】【医】	300円
肺がん検診	40歳以上	胸部X線撮影	【保】【医】	無料
	50歳以上ハイスクリスク	条件により喀痰検査	【保】【医】	400円
乳がん検診	30歳代	超音波検査	【医】	1,000円
	40歳以上※②	マンモグラフィ検査	【保】【医】	1,500円
子宮頸がん検診	20歳以上※②	細胞診による検査	【医】	400円
骨粗しょう症検診	18歳以上	かかと超音波測定法	【保】	無料

こんなにも
お得です!

実際の検査費用(市が委託している金額)
14,000円
17,000円
4,000円
5,000円
9,000円
7,000円
9,000円
7,000円

【保】保健福祉センターで実施(日程4面参照) 【医】取扱医療機関で実施(2面参照)

※① 50歳以上の胃がん検診は内視鏡検査かX線撮影の選択制です。

いずれか一つしか受診できません。

50歳以上の内視鏡検査による胃がん検診の受診は2年に一度です。

(前年度受診された方は対象外です。翌年度は内視鏡検査、X線撮影いずれも受診できません。)

※② 乳がん検診(40歳以上)・子宮頸がん検診の受診は2年に一度で、

前年度受診された方は対象外です。

超音波検診(30歳代)の受診は年度中に一度の受診です。

今年度は次の方が対象です

- 乳がん検診(40歳以上)は昭和の偶数年生まれの方(豊胸手術された方は、超音波検診になります。受診は2年に一度です。)
- 子宮頸がん検診は昭和の偶数年生まれの方・平成の奇数年生まれの方

《各検診対象の方で次の方は検査料金が免除になります》

(歯周病検診は3面参照してください)

- 後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方
- 高齢受給者証をお持ちの方
- 老人医療(一部負担金相当額等一部助成)医療証をお持ちの方
- ※上記の方は受診の際に証明書の提示が必要です。
- 生活保護世帯に属する方
- ※生活保護証明書等の提出が必要です。
- 市民税非課税世帯の方
- ※世帯全員の市民税非課税証明書等の提出が必要です。

《次に該当する方はがん検診の対象になりません》

- ① 大阪市民でない方
 - ② 検診部位の病気で治療中・経過観察中の方
また、過去に検診部位の病気をしたことがある方は、検診に適さない場合がありますので、主治医にご相談下さい。
 - ③ 自覚症状のある方(医療による詳しい診察を受けてください)
 - ④ 今年度中に各がん検診(自費で受けた検診・医療で受けた検査を含む)を保健福祉センターや勤務先・医療機関・他の自治体等で受けた方
 - ⑤ 勤務先等で同程度の検診を受診できる方
- ★ 対象外の方が受診されますと全額自己負担となることがあります。受診対象について不明な点等ございましたら、保健福祉センターにお尋ねください。

ご予約

(31年4月から32年3月まで 各検診1回限りの受診になります!)

- 医療機関での受診一直接、医療機関(2面参照)に電話でお問い合わせください。
 - センターでの受診一検診日程(4面参照)をご確認の上、保健福祉課(地域保健)32番窓口へ直接お越しいただくか、お電話でご予約ください。ただし、各回定員になり次第締め切ります。
- 検診受診にあたり、配慮が必要な方は予約時にお申し出ください。

乳がん検診のご注意

★ 平成28年度より※国の指針に基づきマンモグラフィ単独による乳がん検診とします。(視触診は実施しません)医療機関においては視触診併用される病院もあります。

※「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が「視触診については死亡率減少効果が十分でなく精度管理の問題もあることから推奨しない」と改正されました。

◆ 検診には、男性医師・男性技師が従事する場合があります。従事者の性別に関するお問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください。